

【初めて参加されます方へ】

初めてオープンウォータースイミング(以下、OWS という)に参加されます方は、まずプールとは違い、レーンロープもラインも無い海という自然環境の中で行うスポーツであり、危険が伴うという事を認識しなければならない。

潮流や海水温(上層部と少し下では異なる)、満干の差、風の向きなどの自然環境を、自分自身の判断で行わなければならない競技であり、その判断を誤ると大変な事故につながります。出場・棄権・途中棄権などの判断は全て自分で行わなければなりません。

このように、OWS 競技への出場は、自己責任に基づいて行われるスポーツです。決して無理をせず、完泳するという勇気と、体調が思わしくない時には直ちに棄権するという勇気の相反する2つの勇気をもって競技に臨んでください。

もちろん、皆様の安全を確保するため、日本ライフセービング協会、NPO 法人愛知県ライフセービング協会、愛知県水難救済会はじめ多くの方々の安全協力のもと、大会の運営をいたしますが、出場する選手本人の自己管理が安全のための第一条件となります。

《以下、下記の流れに沿って行動してください》

◆受付は種目別に案内しますが、受付までに①を済ませておいてください。

- ①番のポール(砂浜)でスタートリスト・ゼッケン番号の確認をして、健康アンケートの記入、誓約書への署名を行ってください。
- ②番テント内ドクターブースへ健康アンケート・誓約書を持って行き、ドクターチェックを受けてください。(爪・指輪・ピアス等突起物のチェックも行います)
- ③番テント内の受付に、種目別に案内する順番に従い、ドクターチェックを受けた書面を提出し、出場の有無を確認して大会指定キャップ・プログラム・ADカード・参加賞を受け取ってください。
- ④番ポール(砂浜)で、両肩上部に縦にゼッケン No を係の者に書いてもらいます。
ウエットスーツやロング水着を着用している方は両手の甲に書きます。

《ビーチクリーン》

- ・参加者、競技役員全員で10分間、選手が歩く砂浜のビーチクリーンを行います。ビニール袋をお渡ししますので砂浜のゴミをいっぱい拾ってください。
ビーチクリーン後全員で記念写真の撮影を行います。

《ウォーミングアップ》

- ・ウォーミングアップは指示があるまで行わないようにしてください。
指示がありましたら、指定されたエリアでライフガードの指示を守ってください。
(OWS が初めての方は主催者が指定する補助浮具を使用してください)
キャップは大会指定キャップではなく、ご自分のキャップを着用してください。

《開会式》

- ・開会式を行いますので案内に従い、本部テント前にご集合ください。
開会式が終了しますと、種目別に招集の案内をしますのでお待ちください。

《招集・競技》

- ・300m種目・500m種目の招集を同時に行います。
当日は、防波堤内に300mのコースと、500mのコースを設営いたします。
300mに出場される方は、300mのコースを1周します。
500mに出場される方は、500mのコースを1周します。
初めて海で泳ぐ方は、主催者の定める補助浮具（セーフティーバッグ）をつけてください。
名前がアナウンスされますので、右手を挙げてアピールし、スタート地点まで進んでください。
コース説明は招集時に競技役員から行います。
泳ぎ終わって水面から砂浜に上がった時点で順位が決まりますので、計測所まで追い越しを禁止します。
計測所までは係の指示に従い、番号札を受け取った後、最終確認所で番号札を返却してください。
- ・1000m種目・1500m種目の招集を同時に行います。
当日は、防波堤内に500mのコースを設営いたします。
1000mに出場される方は、500mのコースを2周します。
1500mに出場される方は、500mのコースを3周します。
名前がアナウンスされますので、右手を挙げてアピールし、スタート地点まで進んでください。
1500mは2周終了時50分を超えた場合は失格となり、3周目に入れません。
コース説明は招集時に競技役員から行います。
泳ぎ終わって水面から砂浜に上がった時点で順位が決まりますので、計測所まで追い越しを禁止します。
計測所までは係の指示に従い、番号札を受け取った後、最終確認所で番号札を返却してください。
- ・3000m種目・5000m種目（一般区分）・5000m（日本選手権トライアルの部）の招集を同時に行います。
名前がアナウンスされますので、右手を挙げてアピールし、スタート地点まで進んでください。
当日は、外海に1周750mのコースを設営いたします。
従いまして、3000mは外海の750mのコースを4周、5000mは堤防内の500mのコースを1周後、外海の750mコースを6周します。

3000mは3周終了時80分を超えた場合は失格となり、4周目に入れません。

5000mは防波堤内の500mのコースを1周と、750mのコース5周終了時100分を超えた場合失格となり、6周目には入れません。

コース説明は招集時に競技役員から行います。

泳ぎ終わって水面から砂浜に上がった時点で、順位が決まりますので、計測所まで追い越しを禁止します。

計測所までは係の指示に従い、番号札を受け取った後、最終確認所で番号札を返却してください。

《表彰式》

表彰式は各競技終了後に行います。

1位～3位に入賞されました方は、表彰式に参加してください。

* 性別・区別の1位～3位までに入賞されました方には賞状が授与されます。

* 5000m日本選手権トライアルの部は性別・総合1位～3位までに入賞が授与されます。

《記録証》

完泳されました方には、泳ぎ終わったら記録証が授与されますので受け取ってください。

《リレー2000m（1周500m×4人）》

リレー種目は、事前にエントリーしていなくても、当日個人種目に参加した選手の方同士でチームを作り参加することができます。所属チームの枠を超えて、楽しく参加してください。

- ・メンバー構成は自由です。
- ・年齢区分もありません。
- ・今大会に出場した方でリレー出場を希望される方は、当日受付を行います。
- ・参加資格は当日個人種目に参加した方のみです。
- ・チーム名も任意です。
- ・受付・招集は4名揃って受けてください。
- ・参加費1チーム 12000円必要です。

《留意事項・備考》

- ・大会会場内にて、主催者の許可なく営利活動や販促物等の配布、集客活動等を行う事は禁止します。
- ・大会当日、天候、社会情勢ならびに天変地異の不可抗力により中止になった場合は申込金の返金はできません。
- ・「りんくうビーチ」は伊勢湾のほぼ中央にあり、目の前には中部空港に離発着する飛行機を見ることができ、正面には紀伊半島の鈴鹿山脈に落ちる夕日も絶景です。
常滑市は日本六古窯の1つで、見どころもいっぱいの街です。
古くは土管の街として有名でした。特に常滑焼独特の朱泥の急須と、招き猫が有名です。
そんな常滑の街を、大いに楽しんでいただきますことを願っております。